

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
1	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	地域未来創生塾@中央公民館	5回	①令和5年10月11日(水) ②令和5年10月25日(水) ③令和5年11月8日(水) ④令和5年11月22日(水) ⑤令和5年12月13日(水)	・弘前文化センター第6会議室(第4回のみ弘前文化センター多目的研修室) ・オンライン(Zoom)	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 【共催】 弘前市教育委員会(中央公民館) 【後援】 弘前市、東奥日報社、陸奥新報社	本事業は、「持続的で豊かな地域創造」をテーマとする。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策、地域の防災・減災などを模索するために、地域のみならず弘前大学人文社会科学部の教員が講義形式で学びを深めることを目的とする。 第1回目は「歴史的に見た弘前と対馬のつながり」、第2回目は「人口と経済の関係:人口減と人口流出どちらがより問題か?」、第3回目は「農家の経験値から学ぶー短角牛の「よい母ウシ」とは?」、第4回目は「りんご新品種の食味評価および今後の普及方法について」、第5回目は「小説」って何だろう～太宰治を読む～」と題して講義を行った。	①人文社会科学部 助教 古川祐貴 ②人文社会科学部 助教 泉直亮 ③人文社会科学部 助教 安中進 ④人文社会科学部 教授 黄孝春 ⑤人文社会科学部 助教 片岡美有季	弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方
2	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	国際公開講座2023ー日本を知り、世界を知るー「伝わる文化、受け継がれる文化」	1回	令和5年11月3日(金・祝)	弘前大学創立50周年記念会館若木ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部 【共催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	本事業は「過去と向き合う人文学ーその未来を見通すカギ」をテーマとして、弘前大学における多彩な「人文学」研究を、3名の教員が紹介する。日本と世界各地の文化や歴史について、最新の研究成果に基づき、地域の皆さまにわかりやすく伝えることを目的とする。	人文社会科学部 助教 佐々木あすか 人文社会科学部 助教 永本哲也 人文社会科学部 教授 杉山祐平	一般の方
3	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	シンポジウム「裁判員裁判の共有の意義」	1回	令和5年11月3日(金・祝)	・人文社会科学部棟4階多目的ホール ・オンライン(Zoom)	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	これまでのシンポジウムでは、裁判員の「経験」について考えてきたが、今年度は裁判員経験を「共有」することの意義は、どこにあるのかを報告やパネルディスカッションを通じて考えることを目的として開催した。	裁判員経験者 田口真義 専修大学教授 飯 考行	一般の方
4	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	セミナー「自然栽培による農業の経営実践～管理会計の視点から～」	1回	令和5年6月10日(土)	・人文社会科学部棟4階視聴覚ルーム ・オンライン(Zoom)	【主催】 弘前大学人文社会科学部 公益財団法人牧誠財団	本事業は自然栽培法による農業を実践し、その経営がビジネスとして成り立っている農業者・農業法人組織及びその取り組みを支援する地域の関係者が発表を行う。このような取り組みや成果を発表することで、自然栽培に携わる関係者及び、関心のある方々と情報を共有する機会と、農業関係者、研究者、その他の参加者の知見や関心を深めていくことを目的とする。	稲本農園 稲本薫 山下農場 山下育伸 無門福祉会 磯部竜太 木村興農社 木村秋則	一般の方
5	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	ワークショップ「コメの自然栽培の可能性を再考する」	1回	令和5年12月16日(土)	弘前大学八戸サテライト	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 【共催】 青森県木村式自然栽培実行委員会	弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターでは自然栽培研究チームが全国における自然栽培農家や関係者を取材し、その実践活動についてさまざまな形で発信してきた。 今回は、自然栽培農家等の取組を紹介し、コメの自然栽培の可能性と課題をめぐって議論するとともに地域の農家の皆さんへの価値ある情報提供を目的として開催した。	なりざり生命食産 成澤之男 奥州市コメ農家 菊池亮 有限会社タクミライス 森越安雄	自然栽培に興味のある方、自然栽培に取り組んでいる方、一般の方
6	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	フォーラム「市民協業時代における大学的フィールドワークの可能性」	1回	令和5年12月16日(土)	人文社会科学部棟4階多目的ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 【後援】 弘前市、東奥日報社、陸奥新報社	社会においてフィールドワークという活動は認知され、多くの場所で活用されるようになっている一方で、行政や会社などが求めるフィールドワークと大学が求めるフィールドワークの間には顕著な違いがみられる。今回のフォーラムでは、この両者の違いを明確にした上で、大学のフィールドワーク・人類学とその近接領域を例に大学と地域コミュニティとの関わり方の諸相を概観して、市民協業時代における大学の問題発見型フィールドワークの可能性を検討する。	人文社会科学部 准教授 栗山茂 人文社会科学部 准教授 近藤史 人文社会科学部 助教 白石社一郎 地域創生本部 助教 辻本侑生 徳島大学総合科学部 准教授 内藤直樹 筑波大学人文社会系 准教授 木村周平	一般、弘前大学と地域連携中の行政担当者、学生、高校生等
7	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	フォーラム「地方大学生の地元愛着と就職地選択行動」	1回	令和5年12月12日(火)	人文社会科学部棟4階多目的ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	地方から都市部への人口流出が深刻な社会問題となっている日韓両国において、地方大学生の地元愛着と地元定着の決定要因について4年間の追跡調査を実施してきた。本フォーラムでは、その成果を共有するとともに、地方の若者の地域定着の促進策を模索する。	人文社会科学部 教授 李永俊 人文社会科学部 准教授 花田真一 青森県商工労働部 労政・能力開発課総括主幹 葛西久美子 慶北大学校 経済通商学部名誉教授 巖昌玉 慶北大学校経済通商学部 教授 朴相雨 韓国地域開発研究院院長 魯汎旭	一般の方
8	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	消費者フォーラム in HIROSAKI	1回	令和6年1月20日(土)	弘前大学創立50周年記念会館みらのくホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部・弘前大学教育学部・青森県消費者協会 【後援】 青森県教育委員会・弘前市教育委員会・黒石市教育委員会・平川市教育委員会・西目屋村教育委員会・藤崎町教育委員会・大鰐町教育委員会・田舎館村教育委員会 【協力】 青森中央学院大学・弘前中央高等学校・弘前高等学校・青森県消費者問題研究会	本フォーラムは、地域連携の実践の場として消費者教育の推進に寄与することを目的として開催した。 今年度は、誰もが取り残されない地域づくりに向けた、みらいねっと弘前の取り組みについての基調講演、大学生のサポートに向けた中高生の「消費者市民社会」実現に向けた探究学習」の発表などを行った。	みらいねっと弘前代表・社会福祉士 鹿内 葵	一般の方
9	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	フォーラム「地域の脆弱性を可視化し住民に寄り添う除雪を科する」	1回	令和6年2月7日(水)	人文社会科学部棟4階多目的ホール	【主催】 弘前大学人文社会科学部 【共催】 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター	本フォーラムは、データサイエンスを用いて、除雪に関する現状と課題を可視化し、その解決策を模索することを目的とする。 第1部は、3名の講師が「超高齢化する社会における都市の輪郭」、「空き家の増加が要望に与える影響の考察」、「雪対策に係る市民アンケート調査結果から見る現状と課題」と題して研究成果報告を行い、第2部では3名のパネリストによるディスカッションを実施した。	人文社会科学部 教授 李永俊 人文社会科学部 准教授 花田真一 静岡大学 客員准教授 大友翔一	一般の方

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数(日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
10	人文社会科学部 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学観光マイスター(社会人)プログラム (履修証明プログラム)	64回	-	-	【主催】 弘前大学人文社会科学部	青森県の自然資源である白神山地について学び、保全しながら活用できる人材を育成することを目的としたプログラム。履修期間は1年間で全157.5時間開講している。 令和5年度は第1期生が履修し、修了した(1人)。	人文社会科学部 教授 森樹男 人文社会科学部 准教授 熊田憲 人文社会科学部 准教授 高島克史 株式会社インアウト・バウンド 仙台・松島代表取締役 西谷雷佐 (非常勤講師)	観光業に興味・関心のある社会人の方や、観光業などに従事する社会人の方
11	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	教員を目指す高校生のためのセミナー	3回	①令和5年12月16日(土) ②令和6年3月16日(土) ③令和6年3月17日(日)	①弘前大学 総合教育棟1階大教室 ②アス・バム4階 十和田 ③八戸ユートリー8階多目的中ホール	【主催】弘前大学教育学部	①「教員を目指す高校生のためのセミナー in 弘前」 ②教員を目指す高校生のためのセミナー in 青森 ③青森を目指す高校生のためのセミナー in 八戸	①つがる市立稲庭中学校 木村賢也先生 弘前大学教育学部 准教授 大谷伸治 弘前大学教育学部長 福島裕敏 ②八戸市立西園小学校 佐々木 征斗先生 弘前大学教育学部 准教授 佐藤 剛 弘前大学教育学部長 福島裕敏 ③青森市立大野小学校 齋藤 綾乃 先生 弘前大学教育学部 准教授田中 浩紀 弘前大学教育学部長 福島裕敏	高校生
12	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度弘前大学免許法認定講習	6回	①令和5年9月2日(土)～9月3日(日) ②令和5年10月14日(土)～10月15日(日) ③令和5年11月18日(土)～11月19日(日) ④令和5年12月2日(土)～12月3日(日) ⑤令和5年12月25日(月)～12月26日(火) ⑥令和6年1月20日(土)～1月21日(日)	弘前大学 (青森県弘前市文京町1)	【主催】 弘前大学教育学部	小学校外国語教科化に対応した専門性向上のため、免許法認定講習を実施。	弘前大学教育学部 教授 野呂徳治 弘前大学教育学部 准教授 佐藤剛 弘前大学教育学部 准教授 土屋陽子 弘前大学教育学部 助教 吉崎 聡子 弘前学院大学文学部 教授 Edward Forsythe 弘前医療福祉大学 非常勤講師 荒田弘美マクマナス 藤田医科大学 准教授 近藤亮一	小学校教諭普通免許状取得後、小学校(特別支援学校・小学部を含む)における教諭又は講師(ただし非常勤の講師を除く)として3年以上の実務経験を有し、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得しようとする者
13	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度弘前大学免許法認定講習	3回	①令和5年12月25日(月)～12月26日(火) ②令和6年1月9日(火)～1月10日(水) ③令和6年1月20日(土)～1月21日(日)	弘前大学 (青森県弘前市文京町1)	【主催】 弘前大学教育学部	免許教科外教科担任となっている教員への研修の充実及び中学校教諭二種免許状(技術)を取得する機会の拡大のため、免許法認定講習を実施。	弘前大学教育学部 教授 上之園哲也 弘前大学教育学部 教授 櫻田安志	中学校教諭普通免許状を有しており、中学校教諭二種免許状(技術)を取得しようとする国・公・私立学校の教諭又は講師
14	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学教育学部附属四校舎公開研究会	1回	令和5年11月2日(木)	附属小学校・附属中学校 対面とライブ配信、テレビ会議によるハイブリッド型	【主催】 弘前大学教育学部附属中学校・小学校・特別支援学校・幼稚園	「自ら考え 自律的に行動する子の育成」を全体研究テーマとした合同公開研究会を開催した。今年度も対面とライブ配信、によるハイブリッド型で実施。今年度は3回目となり、社会、外国語活動・英語、体育・保健体育の各教科の公開授業や研究協議会を行った。 また、元武蔵大学人文学部教授で一般社団法人ジェイス代表理事 武田 信子 先生を講師に招き、「子の学びを邪魔する育て方・しない育て方」をテーマとした講演会を実施。	元武蔵大学人文学部教授 一般社団法人ジェイス 代表理事 武田信子	教育関係者など
15	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	特別支援教育セミナー:障害のある子どもの支援や教育を考えてみよう!	1回	令和6年3月27日(水)	弘前大学教育学部 1階中教室	【主催】弘前大学教育学部	プログラム① 「障害の疑似体験を通して支援の方法を考えてみよう」 プログラム② 「障害を感じ・認知・身体との関係から考えてみよう」 プログラム③ 「SDGsから、障害のある子どもの教育を考える」	プログラム① 弘前大学教育学部 准教授 天海文久 プログラム② 弘前大学教育学部 教授 増田貴人 プログラム③ 弘前大学教育学部 講師 中山忠政	高校生
16	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	大学で体験するSTEM×Aプログラム:遠近法の数学とルネサンスの絵画	1回	令和5年12月3日(日)	弘前大学教育学部美術 教材室および美術制作室	【主催】アートワールドひろさき 【共催】弘前大学教育学部	イタリア・ルネサンスの画家たちが没頭した透視図法に注目し、その原理を幾何学的に紐解きながら実際に透視図を作成し、さらには、ルネサンスの時代に用いられていたデンプラ技法で絵画作品に仕上げるワークショップ。弘前市と周辺地域の中高生を対象にした。	弘前大学教育学部 准教授 山本稔 弘前大学教育学部 准教授 出佐奈子	弘前市とその周辺地域の中高生
17	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	Life is smell 素数の森・ワークショップ	2回	令和5年11月3日(金・祝)～4日(土)	弘前れんが倉庫美術館 国際芸術センター青森 (AOAC)	【共催】弘前大学教育学部・国際芸術センター青森	令和3年度科学研究費助成事業「美術作品と嗅覚 イメージ受容における香りの作用をめぐって」(課題番号:21K18328 代表者:出佐奈子)の一環で、匂いと記憶を扱うアーティストの井上尚子氏を招聘して行ったワークショップ。弘前市民および青森市民が記憶に残る匂いについて語り合い、自らの人生と匂いの記憶について考察した。	現代美術家 井上尚子 国際芸術センター・青森学芸員 慶野結香 弘前大学教育学部 准教授 出佐奈子	青森県民

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数(日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
18	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	教員研修「サイエンス×アート×カフェ」教科横断のための話題提供と情報交換」	1回	令和5年11月19日(土) 14:00～16:00	弘前大学 教育学部中教室	【主催】 弘前大学教育学部	的に解消されました。これに伴い、本学部ではその後継である『新たな教師の学び』として、教員のための研修活動を新たに企画します。 教科横断のための話題提供と実施報告 第1部 (各10～15分) 1. 山本 稔【調和を見る】数学と音律 2. 朝山 奈津子【調和を聴く】音楽と無理数 3. 島田 透【青を生む】化学反応・発色・金属錯塩 4. 出 佳奈子【育てる】浮世絵・藍・プルシアンブルー 第2部 話題提供・STEAM教育 ことばじめ(朝山) 参加者全員での情報交換	弘前大学教育学部 准教授 朝山奈津子 弘前大学教育学部 准教授 出佳奈子 弘前大学教育学部 准教授 島田透 弘前大学教育学部 准教授 山本稔	教育関係者
19	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	Life is smell 素数の森・展覧会	1回	令和6年2月10日(土) ～3月3日(日)	国際芸術センター青森 (ACAC)	【共催】弘前大学教育学部・ 国際芸術センター青森	令和5年11月に行ったワークショップをもとに、青森に住む人々の記憶に残る匂いを、井上尚子氏にインスピレーション作品へと昇華させて展示した。	現代美術家 井上尚子 国際芸術センター青森学芸員 慶野結香	青森県民
20	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	五感であじわうアート体験 スイーツにするとこんな感じ	1回	令和6年1月20日(土)	CAFÉ & RESTAURANT BRICK	【主催】弘前大学教育推進機構 【共催】弘前れんが倉庫美術館 【後援】弘前大学教育学部 【協力】弘前BRICK株式会社	教養教育課程の授業「キャリアデザインアート・インテンシブ」(受講生11人)で取り組んだ、美術作品と味覚の運動に関する試みの集大成として行ったワークショップ。弘前れんが倉庫美術館で開催した「松山智一展 雪月花のとき」のコラボ企画として、松山作品から発想した学生考案のスイーツをCAFÉ & RESTAURANT BRICKで参加者に紹介したほか、参加者が松山作品から発想したおつまみレシピを実際に作り、参加者同士で考えを共有した。味覚を通して作品を理解したり、発想を形にする体験となった。	弘前大学教育学部 准教授 出佳奈子 弘前大学教育学部 准教授 朝山 奈津子 弘前れんが倉庫美術館 小杉在良 アド・ミュージアム学芸員 樽澤武秀 HIROSAKI AIR 樽澤優香	弘前市民
21	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	若手教師のためのリフレクション 第一歩2023	2回	①令和5年8月4日(金) ②令和6年3月29日(金)	弘前大学教育学部4階 センター会議室	【主催】弘前大学教育学部	若手教師のためのリフレクション第一歩として、以下の内容を実施。 ①第1回 やってみたいよ、省察！ ～省察とは何か・実践的に学ぶ～ ②第2回 自分を深掘りしよう！ ～教師としての足場の再構築～	弘前大学教育学部長 福島裕敏 弘前大学教育学部 教授 宮崎充治 弘前大学教育学部 助教 吉崎聡子 弘前大学教育学部研究科 助教 若松 大輔	校種問わず若手教師
22	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	道徳科授業 UPGRADE プログラム	2回	①令和5年8月7日(月) ②令和6年1月5日(月)	八戸市社会福祉協議会 総合福祉会館	【主催】弘前大学教育学部	令和4年7月1日より教員免許更新制が発展的に解消されたことを受け、教育学部ではその後継となる『新たな教師の学び』として、教員のための研修活動を新たに企画します。 道徳科授業に関する研修プログラムです。	弘前大学教育学部長 福島裕敏 弘前大学教育学部附属中学校 教諭 佐々木篤史	教育関係者
23	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	大学の数学	2回	①令和6年3月16日(土) ②令和6年3月23日(土)	①ユートリー5階視聴覚室 ②弘前大学教育学部1階 大教室	【主催】弘前大学教育学部	弘前大学教育学部教員による 数学好き高校生のための大学の講義	弘前大学教育学部 講師 吉川和宏	高校生
24	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	小学校低学年を対象とした消費者教育講座	1回	令和5年10月7日(土)	文京小学校内文京なかよし会	【主催】 弘前大学教育学部家庭教育学 部研究室(2) 【協力】 弘前市市民協働課 文京なかよし会 柴田学園大学生ボランティア	研究室で開発した消費者教育教材「きみとタノシの一歩ずつ」を用いて、弘前市に住まう小学校低学年の児童を対象に、楽しく遊びながら消費者としての学びの機会を提供した。 また、その保護者へのミニ講座を開催して、消費者教育の啓発を図った。	弘前大学教育学部卒業生 生井うたの 【指導】弘前大学教育学部 准教授 加賀恵子	一般市民 (小学校低学年の児童とその保護者)
25	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	幼い子どもと保護者を対象にした消費者教育講座	1回	令和5年10月18日(日)	弘前大学創立50周年記念 会館 岩木ホールA会	【主催】 弘前大学教育学部家庭教育科 教育学研究室(2) 【協力】 弘前市市民協働課	研究室で開発した消費者教育教材「きみとタノシの一歩ずつ」を用いて、弘前市に住まう幼い子どもとその保護者を対象に、親子で楽しく遊びながら消費者としての学びの機会を提供する。	弘前大学教育学部卒業生 生井うたの 【指導】弘前大学教育学部 准教授 加賀恵子	一般市民 (幼い子どもとその保護者)
26	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	高校生のためのデッサン教室	1回	令和6年3月23日(土)	弘前大学教育学部4階美術 制作室	【主催】弘前大学教育学部	デッサンを学ぶことは作品を制作する上で、大切な「観察力」「表現力」をつけることにも役立ちます。モデルを使い、固定ポーズをじっくりと描き込むデッサンを体験します。	弘前大学教育学部 准教授 佐藤絵里子	高校生
27	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	指導主事研修会	1回	令和5年7月8日(土)	弘前大学教育学部 中教室 ハユートリー オンライン会場	【主催】弘前大学教職大学院 【共催】青森県教育委員会 NITSとのコラボ研修	指導主事を対象とした研修会。「学校現場にどう助言し関わるか」についての講義・演習、指導主事経験者による講演として指導主事としての役割や可能性について語り合う協議、NITSの教授による講義等で構成した午前・午後にはわたる研修会。 2会場をオンライン結ぶとともにオンライン会場も設定した。	弘前大学大学院教育学研究科 教授 中野 博之 県立北斗高等学校 校長 坂上佳苗 NITS教授 百谷田真樹人	指導主事
28	教育学部 jm3315@hirosaki-u.ac.jp	教職大学院第1回 公開セミナー	4回	①令和6年1月20日(土) ②令和6年1月20日(土) ③令和6年2月3日(土) ④令和6年2月3日(土)	オンライン(Zoom)	【主催】弘前大学教職大学院	①「学校のルールをどうつくるかー生徒との対話と改訂生徒指導提案ー」と題して、講演・質疑応答を行った。 ②「デジタル社会におけるさまざまなリテラシーー予測困難な時代を生きるチカラー」と題して、講演・質疑応答を行った。 ③「子どもの回復力を育てるー学校で活かすストレス・マネジメントー」と題して、講演・質疑応答を行った。 ④「ヤングケアラーーどう対応するかーこれからの福祉と連携ー」と題して、講演・質疑応答を行った。	①認定NPO法人カタリバ 山本 晃史 ②弘前大学教育学部 准教授 森本 洋介 ③弘前大学教育学部研究科 准教授 藤江 玲子 ④青森市の星短期大学 教授 最上 和幸	教員 教職大学院生 高校生等
29	医学研究科 jm5194@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院医学研究科公開講座「種々のアレルギー性疾患：その病態と治療」	1回	令和5年9月8日(金) 18:00～20:00	医学研究科講義棟	【主催】弘前大学大学院医学研究科 【共催】公益社団法人青森医学振興会	アレルギーに関する話題を、3人の専門の先生方にご講演いただき、参加市民の皆様からの質問にお答えします。 正しいアレルギーの知識を得て、悩みを解消してもらうことを目的としています。 講演1「腸内細菌はアレルギーと関係するか？」 講演2「気管支喘息と好酸球」 講演3「教えてーなるほど！こーまで進んだアトピー性皮膚炎の治療」	①医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 松原篤 ②医学研究科 臨床検査医学講座 講師 永賀正道 ③医学研究科 皮膚科学講座講師 赤坂英二郎	一般市民の方、教職員、 学生 50名程度

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
30	医学研究科 jm5194@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度弘前大学大学院医学研究科「健康・医療講演会」 「アレルギーの最近の話題について知ろう」	1回	令和5年10月28日(土) 14:00～16:00	きざん三沢	【主催】弘前大学大学院医学研究科 【共催】三沢市立三沢病院、公益社団法人青森医学振興会	アレルギーに関する話題を、2人の専門の先生方にご講演いただきます。 講演後、参加市民の皆様からの質問にお答えします。 正しいアレルギーの知識を得て、悩みを解消してもらうことを目的としています。 講演1「食物アレルギーを正しく知るー最近の話題も含めてー」 講演2「アレルギーの感作と発症ー疫学調査から腸内細菌の話題を含めてー」	①三沢市立三沢病院 小児科 鈴木友希 ②大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 松原篤	一般市民の方50名程度
31	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	育児中の母親のためのリフレッシュ講座	16回	①令和5年6月14日(水) ②令和5年6月16日(金) ③令和5年7月7日(金) ④令和5年7月4日(金) ⑤令和5年8月7日(月) ⑥令和5年8月21日(月) ⑦令和5年9月29日(火) ⑧令和5年9月7日(木) ⑨令和5年10月6日(金) ⑩令和5年10月13日(金) ⑪令和5年11月24日(金) ⑫令和5年12月8日(金) ⑬令和6年1月12日(金) ⑭令和6年1月26日(金) ⑮令和6年3月11日(月)	①⑩大浦保育園 ②③⑥⑧⑨⑪⑫⑬弘前市駅前こどもの広場 ④こまどり保育園 ⑤⑬みどり保育園 ⑥中泊町教育委員会、こまどり保育園子育て支援センター ⑦中里こども園 ⑧岩木児童センター ⑨弘前大学医学部附属病院 小児病棟	【共催】弘前大学大学院保健学研究科 ①⑩大浦保育園地域子育て支援センター ②③⑥⑧⑨⑪⑫⑬弘前市駅前こどもの広場 ④中泊町教育委員会、こまどり保育園子育て支援センター ⑤⑬みどり保育園地域子育て支援センター ⑥中泊町教育委員会、中里こども園子育て支援センター ⑦岩木児童センター ⑧弘前大学医学部附属病院 小児病棟	本事業は、地域で子育てをしている母親を対象に、リフレッシュ講座を開催するものである。この講座の実施により、地域で子育てをしている母親が心身ともに健やかに生活していくための一助とすること、ならびに、講座の開催を通じて教育・知的資源を地域社会へ還元すると同時に地域社会から学ぶ機会とすることを目的としている。講座の内容は、精油を用いた制作体験(ハンドクリーム、エアーフレッシュナー、蜜蝋燭など)、ヨーガ、子どもの看護や子育てに関する講話など、ニーズに合わせて講座内容を工夫しながら実施している。	弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 准教授 北島麻衣子 助教 橋本美至 助教 高間木静香	育児中の母親
32	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	弘前市民公開講演会	1回	令和6年2月3日(土)	ハイブリッド 対面+Web(Zoom)開催	【共催】弘前大学 生体応答科学研究センター(特プロ) 青森労災病院	生体応答科学研究センター構成員である真里谷氏との共催により、毎年放射線治療に特化したテーマで市民公開講演会を開催している。2023年度は、「がんゲノムとは？遺伝子のがんにどう関わっているかを知らう」をテーマに「消化器がん高精度放射線治療の進歩」、「がんゲノム検査をすすめた方への看護支援の実際」、「がんと遺伝子の密な関係」の3つの講演を行った。	弘前大学医学院保健学研究科 宮崎光江 青森労災病院・副院長／がん診療センター長 真里谷靖 弘前大学医学部付属病院看護部／がん看護専門看護師 小野晃子	弘前市民(中学・高校生含む)、医療従事者、本学学生・教職員、その他定員:会場300名、Web100名
33	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	第8回放射線看護セミナー	1回	令和5年9月30日(土)	Web(Zoom)開催	【主催】弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 放射線看護教育部門	放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし、画像診断や核医学診療、IVR診療、放射線治療、さらには被ばく医療に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指し、放射線看護に関する様々な教育支援も行っている。本セミナーは放射線看護に携わる看護師のために放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに、核医学における看護師の役割について最新の知見をまじえて理解を深めることを目的としている。	弘前大学大学院保健学研究科 助教 小山内暢 大阪大学大学院医学系研究科重粒子線治療学寄付講座 教授 清水伸一	放射線看護に興味・関心のある医療職者(先着200名程度)
34	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	2023年度放射線看護ベシントレーニング	1回	令和5年12月3日(日)	Web(Zoom)開催	【共催】①弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター ②(大)京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター ③(大)京都大学医学部附属病院 放射線部	看護基礎教育において、放射線看護を担当する教員もしくは医療機関において放射線診療に関わる看護師の皆さまの放射線に関する知識・技術を充実させることを目的とした研修。 講義とともに放射線測定器等を使って自然放射線や移動型エクス線撮影装置からの放射線などの測定演習を行い、放射線基礎・防護方策の理解促進を図る。	弘前大学大学院保健学研究科 助教 小山内暢 弘前大学大学院保健学研究科 助教 寺島慎吾 弘前大学被ばく医療連携推進機構 災害・被ばく医療教育センター 助教 辻口貴清	看護職者・看護教育に関わる教育機関関係者(先着100名)
35	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	はじめての放射線リスクコミュニケーション	1回	令和5年8月18日(金)	Web(Zoom)開催	【主催】被ばく医療人材育成推進委員会 リスクコミュニケーション教育部門	放射線ならびに放射線リスクコミュニケーションの理解を深め、放射線リスクコミュニケーションに関わる人材を育てること、また、放射線リスクコミュニケーションを通して放射線についての知識を深めることを目的とした初学者向け教育プログラム。	弘前大学大学院保健学研究科 助教 工藤ひろみ 講師 對馬恵 助教 田中真 北海道科学大学 保健医療学部 診療放射線科 助教 小倉巧也	自治体関係者ほか
36	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	被ばく医療研修	2回	①令和5年9月2日(土) ②令和5年10月15日(土)	①Web(Zoom)開催 ②対面開催	【主催】被ばく医療人材育成推進委員会 被ばく医療教育研修部門	被ばく医療や放射線に関する基礎的知識の習得、他職種との協働意識の向上を目的とし、講義や実証的な演習の他、放射線被ばく事故を想定した受け入れ医療処置に関する机上演習や学習者同士のディスカッションの時間を設けている。初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワークの構築に興味のある方向けの内容。	弘前大学大学院保健学研究科及び被ばく医療総合研究所 教員	看護職者・診療放射線技師及び医療従事者
37	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	ESRAH 2023	2回	①令和5年9月23日(土) ②令和5年9月24日(日)	対面+Web(Kelleher博士とTamarat博士の講演のみ)のハイブリッド ※対面会場:弘前大学保健学研究科F棟1階大学院講義室	【主催】弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 グローバル人材育成推進部門	大学院が主体となって運営する国際シンポジウム、国際的に活躍できる人材育成を目的に平成20年頃から継続的に開催している。	①Tibor Kovács, University of Pannonia, Hungary ②Kevin Kelleher, Environmental Protection Agency, Ireland ③Radia Tamarat, IRSN, Institut de radioprotection et de sûreté nucléaire, France ④Narongchai Autsavapornporm, Chiang Mai University, Thailand ⑤Siamak Haghdoust, University of Caen Normandy, France / University of Stockholm, Sweden	保健学研究科及び被ばく医療総合研究所の教職員と学生、北海道大学の学生、その他海外の関係機関の研究者
38	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	第5回RNECセミナー	1回	令和6年2月29日(木)	対面+Web(Zoom)のハイブリッド ※対面会場:弘前大学保健学研究科33講義室	【主催】(大)弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター	ハワイ大学マノア校ナランシーアトモスベラウォルチ看護学校から講師を招聘して、アメリカにおける高度看護実践看護の教育(NP、CNS)に関する講演会を実施した。	Dr. Courtney Nunokawa DNP, APRN-Rx, AGPCNP-BC Doctor of Nursing Practice Program Director, Interim Instructor & AGPCNP Program Coordinator Nancy Atmospera-Walch School of Nursing - University of Hawaii at Manoa	看護教員、看護師、看護学生100名
39	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	世界自閉症啓発デー発達障害啓発週間in青森 子どもの発達支援研究室公開講座	1回	令和5年4月8日(土)	オンライン開催	【共催】弘前大学大学院保健学研究科、青森自閉症協会、青森県、青森県発達障害者支援センター「ステップ」 【後援】青森県精神保健福祉協会、青森市	青森市で開催される世界自閉症啓発イベントで公開講座を開講する。青森県と本学で監修した「青森県子どもの発達支援ガイドブック」の概要と活用方法、イラスト提供にご協力いただいた自閉症アーティストKonomiさんを紹介(動画メッセージ)、自閉症をはじめとする発達障害について、県民に啓発を行う(4月2～8日は発達障害啓発週間)。	『青森県子どもの発達支援ガイドブック wordイラストレーター Konomiさんの紹介』 講師:斉藤 まなぶ (弘前大学大学院保健学研究科 医学部心理支援科学科 教授) 『地域に向けた気になるお子さんへの支援の実践』 講師:前中 貴次 (ライフサポートあおば 所長)	当事者、保護者、保育士・教師、療育・福祉関係者、教育関係者、自治体職員、学生、教員など300名

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
40	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	第2回子どもの発達支援研究室 公開講座「初めて学ぶCAREプログラム」	1回	令和6年2月28日(水)	オンライン開催	【主催】 心理支援科学科 斉藤研究室(子どもの発達支援研究室)青森県発達障害者支援センターステップ、青森県	PCIT(Parent-Child Interaction Therapy) CARE(Child-Adult Relationship Enhancement)この2つのプログラムは、子どもとの間に、温かな、よりよい関係を築くために大切な養育のスキルを体験的に学ぶことができるプログラムである。子どもとの遊び方、関わり方を医療従事者として養育者に効果的に伝える方法を学ぶことができる機会を提供する。青森県では5年前から発達障害者支援センターで研修を行っており、発達が心配なお子さんの早期療育に向けた保健指導として推奨されている。	秋田大学大学院医学系研究科作業療法講座 教授太田英伸	大学教職員、東北圏内保健師、保育所・幼稚園・療育機関、母子保健等発達障害児支援に携わっている支援者
41	保健学研究科 jm5906@hirosaki-u.ac.jp	第3回子どもの発達研究室公開講座「CLASP-3y 乳幼児発達障害研修会～青森県子どもの発達と行動に関するチェックシート活用に向けて～」	1回	令和6年3月9日(土)	オンライン開催	【主催】 【共催】心理支援科学科 斉藤研究室(子どもの発達支援研究室)青森県発達障害者支援センターステップ、青森県	Check List of obscure disabilities in Preschoolersは、目立ちにくい4つの状態(吃音・チック症・LD・DCD)の可能性に就学前に気づくためのチェックリストです。CLASP-3yはさらに3歳児健診でチェックできるように開発中のチェックリストです。青森県では令和6年から3歳児健診で活用が推奨されるため、本研修会はこの活用に向けて乳幼児の発達障害への理解を深めるための研修会となる	①吃音 北里大学 教授 原由紀 ②チック 東京大学 准教授 金生由紀子 ③読み書き 慶応義塾大学 准教授 北洋輔 ④運動 弘前大学 教授 斉藤まなぶ ⑤知的発達症 NCNP 稲垣真澄 ⑥睡眠障害 大阪大学 准教授 毛利育子	大学教職員、東北圏内保健師、保育所・幼稚園・療育機関、母子保健等発達障害児支援に携わっている支援者
42	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	2023年度 日本火災学会研究発表会	2回	①令和5年5月27日(土) ②令和5年5月28日(日)	弘前大学 (総合教育棟101、201、202、203、301、302、303、304、401、404 玄関ホール、2～4Fリフレッシュスペース、1～4Fホール)	【主催】日本火災学会 【共催】弘前大学大学院理工学研究科	日本火災学会が開催する討論会。毎年、火災研究に関わる全国の大学、企業、研究機関、消防、警察等で実施された最新の研究成果を発表・討論している。	弘前大学大学院理工学研究科教授 鳥飼宏之	火災学会会員および消防関係者
43	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	夏休みの数学	2回	①令和5年8月5日(土) ②令和5年8月6日(日)	弘前大学理工学部2号館10階 1010号室 弘前大学理工学部1号館5階 第10講義室	【主催】弘前大学理工学研究科	中学校や高等学校の数学の教科書に出てくる数学の世界のすくなく面白い話題がたくさんあり、そのような数学の魅力の一端を高校生や一般の市民の方々に知ってもらうための企画である。	弘前大学大学院理工学研究科教授 金正道 弘前大学大学院理工学研究科准教授 江居 宏美	中学校、高校の数学担当教員、一般市民、高校生
44	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	化学への招待	1回	令和5年8月7日(月)	弘前大学理工学部教育学部 農学生命科学部	【主催】 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科 【後援】 青森県教育委員会 弘前市教育委員会 東北ポリマ―懇話会	先端科学・技術の一端を担う化学に興味を抱いてもらえるよう、中学・高校生を対象に開催している。	弘前大学大学院理工学研究科助教 松田翔風 弘前大学大学院理工学研究科教授 川上洋 弘前大学大学院理工学研究科准教授 北川文彦 弘前大学理工学研究科准教授 野田香織 他	高校生(中学生・一般も可)
45	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	Dr.BaixinChen講演会	1回	令和5年8月24日(木)	弘前大学理工学部2号館2階第12講義室	【主催】弘前大学大学院理工学研究科	ヘリオット・ワット大学のDr. Baixin Chen准教授を講師に迎え、理工学部2号館第12講義室にて開催した講演会。地球温暖化ガスであるCO2対策技術として期待されている海洋隔離について、フィールド実験とモデル開発を組み合わせて構築した研究成果事例をもとにご説明いただく。	ヘリオット・ワット大学 准教授 Dr. Baixin Chen	学生、教員、一般
46	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	日本機械学会東北支部第59期 秋季講演会	1回	令和5年9月30日(土)	弘前大学理工学部	【主催】(一社)日本機械学会 【共催】弘前大学大学院理工学研究科	日本機械学会東北支部が開催する講演会。毎年、機械工学に関わる東北地域の大学、高専、研究機関、企業などで実施された最新の研究成果を発表・討論している。	弘前大学大学院理工学研究科助教 三浦鴻太郎 弘前大学大学院理工学研究科教授 宮川泰明 弘前大学大学院理工学研究科教授 笹川和彦 弘前大学大学院理工学研究科准教授 藤崎和弘	日本機械学会学会員
47	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	エアロ・アクアバイオメカニズム 学会第47回定例講演会	1回	令和5年9月26日(火)	弘前大学 理工学部1号館5F 第10講義室	【主催】エアロ・アクアバイオメカニズム学会 【共催】弘前大学大学院理工学研究科	エアロ・アクアバイオメカニズム学会が開催する講演会。年に2回、生物の飛翔・遊泳に関するバイオメカニズムの最新研究成果を発表・討論する講演会を開催している。今年度は9月26日(火)に弘前大学 文京キャンパスで秋季講演会を開催し、一般講演6件に加え、この分野の第一線で活躍している研究者による招待講演2件を行う。	東北大学大学院助教 照月大悟 東京電機大学教授 横山直人	学会会員および共催学会の会員、全国の研究者、弘前大学生、教職員、自治体職員、教育関係者、市民一般など
48	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	雪氷防災研究講演会 ―津軽の雪を科学する―	1回	令和5年11月1日(水)	創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】防災科学技術研究所 【共催】弘前大学大学院理工学研究科 【後援】青森県、弘前市、日本水雪学会東北支部、日本雪工学会北東北支部	本講演会は、最近の雪氷防災に関わる取り組みや研究成果を広く一般の方々に知っていただき、雪国での生活の向上に寄与することを目的として、毎年開催致しております。	青森地方気象台観測予報管理官 福士 正輝 弘前大学大学院理工学研究科教授 谷田員重紀代 弘前大学大学院理工学研究科准教授 石田祐宣 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター雪氷環境実験室長 根本 征樹 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長 中村一樹	一般、教職員、学生
49	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	日本化学会東北支部青森地区 講演会	1回	令和5年11月17日(金)	創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】日本化学会東北支部 【共催】弘前大学大学院理工学研究科	日本化学会東北支部が開催する講演会。毎年、化学関連の研究の第一線で世界的に活躍されている研究者を招聘し、青森地域の方々、弘前大学や近隣大学の学生・教職員等を対象に、講演者の最先端研究についての講演会を開催している。今年度は11月17日(金)に弘前大学 創立50周年記念会館にて講演会を開催。	一般財団法人総合科学研究機構 中性子科学センター長 柴山 充弘	市民一般(制限なし、アナウンスは主に弘前大学生、日本化学会会員)

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
50	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	第11回弘前非線形方程式研究会	2回	①令和5年12月1日(金) ②令和5年12月2日(土)	弘前大学総合教育棟 302号室	【主催】弘前非線形方程式研究会 【共催】弘前大学大学院理工学研究科 【協力】日本学術振興会 科学研究費補助金	毎年全国から研究者が参加し、自然現象や社会現象などを記述する様々な非線形微分方程式の数学解析に関する最新の研究成果について発表と討論を行う。	東北大学 青木基記 東京理科大学 西井良徳 弘前大学 倉坪茂彦 奈良女子大学 南香名 静岡大学 藤嶋陽平 熊本大学 勝呂剛志 東京都立大学 下條 昌彦	全国の研究者、弘前大学生・大学院生、教育関係者、高校生など
51	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	日本鉄鋼協会「湯川記念講演会」	1回	令和5年12月6日(水)	弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール	【主催】日本鉄鋼協会東北支部 【共催】弘前大学大学院理工学	日本鉄鋼協会が開催する講演会。毎年著名な研究者を招待し、学生、教員等を対象とした講演会を開催している。	東北大学 金属材料研究所教授 古原忠 東北大学 大学院工学研究科教授 成島尚之	学会会員および共催学会の会員、弘前大学生
52	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	国際交流協定校 中国太原理工大学 研究者来日特別講演会 カーボンニュートラルに向けた最新エネルギー技術研究会	1回	令和5年12月21日(木)	弘前大学理工学部2号館 2階第12講義室	【主催】弘前大学大学院理工学	理工学研究科は、大学の協定校である太原理工大学と長年にわたり学術交流推進に取り組んでいるところである。これまでの本学との交流実績に基づき、太原理工大学は弘前大学との国際交流の一環の拡大を推進するために、中国文部科学省(教育部)に国際交流推進プロジェクトを申請し採択されました。今回はその第1弾として、来学される2名の先生に、エネルギー資源の効率的分離・回収技術と、カーボンサイクル・次世代石炭ガス化燃焼技術を焦点にご講演いただく。	太原理工大学教授 中国山西省化学工学会理事長 HAO XIAOGANG 太原理工大学副教授 中国山西省化学工学会理事 ZHANG ZHONGLIN	学生、教員、一般
53	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	第36回理論シンポジウム 「高赤方偏移のフロンティア」	3回	①令和5年12月25日(月) ②令和5年12月26日(火) ③令和5年12月27日(水)	弘前大学創立50周年記念会館	【主催】理論天文学宇宙物理学懇談会 【共催】弘前大学大学院理工学	「高赤方偏移のフロンティア」をテーマに掲げた理論シンポジウム。近年のALMA望遠鏡による電波観測やJWSTの赤外線観測などの活躍により遠方銀河の新しい発見が相次ぎ、いよいよ赤方偏移 $z=10$ を超えるような宇宙に手が届きつつある。さらにはEHTによる巨大ブラックホールの直接撮像、重力波の直接観測、GAIA衛星による精密位置天文など、これまでとは質的に異なる情報によって、我々の宇宙観の理解も飛躍的に深化しつつある。このようにフロンティアが急速に広がり予想外の観測結果が得られる時代にあつて、理論研究者がすべきことは何かを議論する場を提供することを目的とする。	国立天文台 吉浦伸太郎 KEK 向田 享平 富山大学 廣島浩 宇宙線研究所 榎島優一 筑波大学 橋本拓也 弘前大学大学院理工学研究科 助教 野村真理子 マドリード自治州立大学 黒柳幸子 スタンフォード 内海洋輔	全国の研究者、弘前大学生、弘前大学教職員
54	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	国際交流協定校教員による「特別講演会」 カーボンニュートラルに向けた最新エネルギー技術	1回	令和6年1月15日(月)	弘前大学理工学部1号館 2階第3講義室	【主催】弘前大学大学院理工学研究科	理工学研究科は、大学の協定校である鄭州大学と太原理工大学と長年にわたり学術交流推進に取り組んでいるところである。これまでの本学との交流実績に基づき、鄭州大学と太原理工大学の教員は弘前大学との国際交流の一環の拡大を推進するために、中国文部科学省(教育部)に国際交流推進プロジェクトを申請し採択されました。今回はその来学された2名の先生に、センサー技術とその応用、バイオマスエネルギーの高度利用技術を焦点にご講演いただく。	鄭州大学副教授 ZOU LINA 太原理工大学副教授 YANG JINGXUAN	学生、教員、一般
55	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	日本金属学会東北支部地区講演	1回	令和6年1月31日(水)	創立50周年記念会館 岩木ホール	【主催】日本金属学会 東北支部 【共催】弘前大学大学院理工学研究科、軽金属学会 東北支部	日本金属学会が開催する講演会。毎年著名な研究者を招待し、学生、教員等を対象としている。	京都大学大学院工学研究科教授 乾晴行 物質・材料研究機構 博士 上路林太郎 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 釜田才寛	学会会員および共催学会の会員、弘前大学生
56	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度 情報処理学会東北支部研究会	1回	令和6年2月27日(火)	弘前大学理工学部1号館 4階第8講義室	【主催】情報処理学会東北支部 【共催】弘前大学理工学部電子情報工学科	情報処理学会東北支部が東北地区の大学で年に7回程度開催しているもの。広い意味での情報処理分野に関する研究について、幅広い視点からの議論が交わされる。	弘前大学理工学研究科 准教授 成田明子 弘前大学理工学研究科 教授 小野ローレ 弘前大学理工学研究科 准教授 水田智史 弘前大学理工学研究科 教授 銭谷勉 弘前大学理工学研究科 准教授 丹波澄雄	全国の研究者
57	理工学研究科 r_koho@hirosaki-u.ac.jp	医工学技術者養成講座(履修証明プログラム)	75回			【主催】弘前大学大学院理工学	本講座は精密機器関連の新しい産業、特に医療に関連する様々な製造業のイノベーションを生み出せる民間人材の育成を目的としている。地域の製造業およびその関連産業に従事されている社会人を対象とし、医工学に関連する大学院レベルの教育を提供することによって青森県ないし北東北でイノベーションを起こせる民間人材の育成をサポートする。	弘前大学大学院医学研究科 掛田伸吾 他	地域の製造業及びその関連産業等に従事している者
58	農学生命科学部 jm3748@hirosaki-u.ac.jp	公開講座「リンゴを科学する」	1回	令和5年12月9日(土)	板柳町多目的ホールあぶる	【主催】弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター・藤崎農場 【共催】板柳町 【後援】弘前市 平川市 藤崎町	リンゴに関する最新情報の提供及び取組事例の紹介等	弘前大学農学生命科学部教授 伊藤大雄 弘前大学農学生命科学部准教授 成田拓未 弘前大学農学生命科学部助教 林田大志 北海道情報大学経営情報学部 准教授 栗原純一	リンゴ生産者 リンゴ産業関係者 一般市民

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
59	地域社会研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域社会研究科 令和5年度 公開セミナー	3回	①令和5年11月7日(火) ②令和5年11月21日(火) ③令和5年11月27日(月)	・主手町コミュニティパーク(定員20名) ・オンライン配信(アップル・ストリーム)	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科	地域社会研究科の授業内容を、地域住民を対象に公開することにより、地域住民が大学院レベルの専門的知識を用いて、地域の課題解決のための担い手となる人材育成を目的とする。 今年度は、20年にわたり研究してきた本研究科の3つの講座が、それぞれの特徴を活かしたテーマを設定し、講義を実施した。	①教育学部 教授 鶴川健三 教育学部 講師 大谷伸治 ②教育学部 准教授 藤田純 人文社会科学部 准教授 花田真一 ③人文社会科学部 教授 森樹男 人文社会科学部 教授 加藤 恵吉 人文社会科学部 准教授 大倉邦夫 人文社会科学部 教授 黄孝春	興味のある方
60	地域社会研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域社会研究科シンポジウム「地域企業の持続的発展に大学はいかに貢献できるのか」	1回	令和6年3月1日(金)	・弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール ・オンライン(Zoom)	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科	地域企業の持続的発展を考えるにあたり、大学はどのような役割を果たしていくべきか、先進的な取り組みを踏まえながら本シンポジウムを通して考えることを目的として開催した。	国立大学法人信州大学副学長 林靖人	興味のある方
61	地域共創科学研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域共創科学研究科令和5年度シンポジウム「地域食産業の高度化を進めるための地域共創や連携のこれから」	1回	令和5年12月8日(金)	・弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール ・オンライン(Zoom)	【主催】 弘前大学大学院地域社会研究科	青森県において農林水産業、食品加工・製造業等を含め食産業は重要な産業群である。これまで弘前大学で蓄積した食に関する研究シーズ、共同研究や連携の事例あるいは課題等について、食品工学・農芸化学、付加価値創造科学を専門とする3名の教員と、大学と共同研究で製品開発を行った民間企業研究者の講演と議論を通じて、地域の食産業の高度化、そのための地域共創や連携のあり方考えることを目的に開催した。	大学院地域共創科学研究科准教授 君塚道史 大学院地域共創科学研究科准教授 西塚誠 株式会社社会食技術本部商品開発部 小澤祐介 大学院地域共創科学研究科教授 内山大史	興味のある方
62	地域共創科学研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度公開講演会「日本海中部地震から40年、防災科学の進歩」	1回	令和5年7月18日(火)	弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール	【主催】 弘前大学大学院地域共創科学研究科 弘前大学大学院理工学研究科 【後援】 青森県、弘前市、弘前地区消防事務組合、東奥日報社、陸奥新報社、NHK青森放送局	令和5年は日本海中部地震から40年目の節目にあたり、地震当時に問題とされたことに対する知見・技術は格段に進歩しており、40年間を振り返って当時弘前大学が学界に寄与した事項を中心に、その後の防災科学・防災技術の進歩を紹介する。また、特にこの地震災害をきっかけに社会科学分野の多くの研究者が災害研究を行うようになったが、その母体として弘前大学があった。当時の様子を知り、防災研究の最前線で活躍された講師から講演をいただくことで、防災リテラシーの向上を図り、将来に備えるきっかけとする。	京都市名誉教授・防災科学技術研究所 前理事長 林 春男 大学院理工学研究科 教授 前田拓人 大学院理工学研究科 教授 梅田浩司 農学生命科学部 教授 森洋	興味のある方
63	地域共創科学研究科 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学大学院地域共創科学研究科研究プロジェクトシンポジウム「りんご新品種の普及と活用を考える」	1回	令和5年12月14日(木)	弘前市総合学習センター2階 大会議室	【主催】 弘前大学大学院地域共創科学研究科	りんご産業の発展には良食味の新品種への更新による消費拡大も重要とされる。民間も含めて数多くの新品種が育成され、さらに海外からも日本に品種登録申請する新品種が増加し、これまでそれらを総合的に評価することが行われていない。また、海外では新品種の知財を活用したクラブ制が導入され、それが品種のブランド化、品質、価格の安定化そしてりんごの消費拡大と品種育成のための研究資金の獲得に寄与しているといわれている。 地域共創科学研究科研究プロジェクトでは、県内にある国内外の新品種を収集し、総合的に試食評価を行うとともに、青森県内でクラブ制を利用することの是非についてアンケート調査を行ってきた。今回のシンポジウムは地域のりんご関係者との研究成果を共有することを目的に開催した。	人文社会科学部 教授 黄 孝春 Venture Fruit ゼネラルマネージャー Morgan Rogers 地方独立行政法人青森県産業技術センター りんご研究所品種開発部長 木村 佳子 弘前大学 名誉教授 ビクター・カーペンター コレジオジャパン ゼネラルマネージャー 今智之 日本ペンレクレー協会事務局長 堀恵介	興味のある方
64	地域戦略研究所 jm3187@hirosaki-u.ac.jp	第22回弘大食料研サイエンスカフェ	1回	令和5年8月19日(土)	おおもりスタートアップセンター	【主催】弘前大学地域戦略研究所	弘大の教員や関連の研究者が話題を提供しつつ、一般の方々や食品研究など身近な科学について語り合うことを目的として実施した。第22回は、オクラや納豆といった食品のネバネバについての話題を取り上げた。	岐阜大学応用生物科学部 教授 矢部富雄	市民一般
65	地域戦略研究所 jm3363@hirosaki-u.ac.jp	地域戦略研究所シンポジウム	1回	令和6年2月27日(火)	弘前大学創立50周年記念会館	【主催】弘前大学地域戦略研究所	「青森の水資源と防災・エネルギー」をテーマに、砂防堰堤を用いた小水力発電の最新動向について外部講師から講演いただいた後、また、シンポジウム後半には、今年度で定年退職される本田明弘教授の最終講義を実施した。	バシフィックコンサルタンツ株式会社 小森谷智夫 弘前大学地域戦略研究所長 本田明弘 教授	弘前大学生、教職員、自治体職員、企業関係者、市民一般
66	国際連携本部 jm3124@hirosaki-u.ac.jp	外国人留学生から直接聞ける世界のおはなし	2回	①前期 令和5年7月8日(土) ②後期 令和5年1月21日(土)	①弘前市文化センター ②弘前市総合学習センター大会議室	【主催】弘前市教育委員会 (弘前市立中央公民館) 【共催】弘前大学国際連携本部	弘前大学で日本語を学ぶ外国人留学生が、母国について日本語で紹介することで、学習成果を発表する場となると同時に、外国人留学生と市民との交流の場となり、市民が外国の文化を知る機会を創出している。	本学で日本語を学ぶ外国人留学生	弘前市在住の方または市内に通学、通勤されている方
67	地域創生本部 jm3146@hirosaki-u.ac.jp	「放課後の子どもの居場所づくりを考える研修会」	5回	①令和5年6月19日(月) ②令和5年7月22日(土) ③令和5年9月9日(土) ④令和5年10月14日(土) ⑤令和6年2月13日(火)	①弘前市民文化交流館ホール ②みやぞの児童センター ③西部児童センター ④裾野なかよし会 ⑤弘前市民文化交流館ホール	【共催】 弘前大学地域創生本部 地域創生人材育成部門 弘前市子ども家庭課	利用児童が増加している学童保育に従事するスタッフや児童館に勤務する児童厚生員を主な対象として、子どもたちにとって居心地のよい居場所や環境について考え、学ぶための研修会を開催する。講義や実践研修に取り組みすることで、子どもの発達課題や遊びの意義、適切な関わり方について考える機会とし、学童保育に従事するスタッフの資質向上を図り、子どもたちにとって居心地のよい居場所づくりを目指す。	①岩手大学教育学部 准教授 深作祐郎 京都市修徳児童館 館長 木戸玲子 弘前市岩木地区 地域おこし協力隊 太田歩 弘前市岩木児童センター 館長 竹内佐智子、高橋絵理 ②岩手大学教育学部 准教授 深作祐郎 愛媛県えひめこどもの城 児童厚生員 上木秀美 ③岩手大学教育学部 准教授 深作祐郎 宮城県名取市増田児童センター 館長 渡邊由貴 ④岩手大学教育学部 准教授 深作祐郎 愛知県東郷町立兵庫児童館 館長 高阪麻子 ⑤岩手大学教育学部 准教授 深作祐郎 全国児童厚生員研究協議会 会長 木戸玲子 宮城県名取市増田児童センター 館長 渡邊由貴	児童厚生員 放課後児童支援員など

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
68	地域創生本部 jm3146@hirosaki-ac.jp	パパラボ遊び研究所vol.7	1回	令和5年11月23日(木・祝)	駅前こどもの広場 ヒロロ3階 イベントスペース	【共催】 弘前大学地域創生本部 地域創生人材育成部門 弘前市こども家庭課	地域子育て支援センターである駅前こどもの広場への来場状況から、弘前市では子育てに参画している父親は少なくないと思われるが、これまでのイベント等の振り返りによると、父親の子育てに対する意識は従属的で「子育てを手伝っている」という意識が強いものと考えられる。父親が得意な子どもとの関わり方を知り、父親・母親ともに承認欲求が満たされるような仕掛け作りを行うことで、父親が子育てを「楽しい」と感じ、自信を持って主体的に子育てに関わることができるような意識を啓発する。	仙台 運動遊び研究サークル 「きんにく〜ず」代表 前田 高幸 仙台 運動遊び研究サークル 「きんにく〜ず」久松 史奈	育児中の父親、これから育児を行おうと思っている男性
69	地域創生本部 jm3146@hirosaki-ac.jp	弘前市公民館関係職員研修会	3回	令和5年5月26日(金) 令和5年10月6日(金) 令和6年1月25日(木)	①、②、③弘前市中央公民館 長慶閣	【共催】 弘前大学地域創生本部 人材育成部門 弘前市教育委員会	少子高齢化に伴い、社会保障や労働力不足などの様々な課題がある一方、地域活性化、住民の「絆づくり」など、身近な生活にも課題は生じており、地域の学びの拠点である公民館の役割も重要とされています。この研修会では、公民館が抱える問題の把握に務め、その解決方法について、地域連携の実践例などから、ヒントを得るとともに、社会教育・生涯学習担当職員として必要な専門的知識技能の習得により職員の資質向上を目指します。	①千葉大学 名誉教授 長澤成次 弘前大学 教育学部 准教授 越村康英 弘前大学 教育学部講師 兼 地域創生本部 地域創生人材育成部門員 深作拓郎 弘前市公民館等活性化アドバイザー 野口拓郎 ②弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英 弘前市公民館等活性化アドバイザー 野口 拓郎 ③帝京大学 教育学部 准教授 生島美和 弘前大学 教育学部 准教授 越村康英 弘前市公民館等活性化アドバイザー 野口 拓郎	弘前市立中央公民館職員 地区公民館職員
70	地域創生本部 jm3146@hirosaki-ac.jp	むつ市子どもの学び応援隊育成研修会	1回	令和5年6月10日(土)	むつ市下北文化会館	【共催】 弘前大学地域創生本部 人材育成部門 むつ市教育委員会	子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、子どもたちを見守る立場である大人たちにも、変わりゆく時代や状況に即した対応力が求められていることから、これまで培ったスキルのブラッシュアップと、更なる地域の教育力の向上を図る。	岩手大学 教育学部 准教授 深作拓郎	放課後児童クラブ指導員等、むつ市地域学校協働本部関係者、市内教育関連団体、PTAを始めとした子どもの学びを応援する市民、子どもに関連するボランティア団体等
71	地域創生本部 jm3146@hirosaki-ac.jp	鶴田町放課後児童支援員研修会	3回	①令和5年4月26日(水) ②令和5年7月8日(土) ③令和5年12月15日(金)	①鶴田町学童保育施設 サンシャインスクール ②鶴田町立鶴田小学校 体育館 ③鶴田町学童保育施設 サンシャインスクール	【共催】 弘前大学地域創生本部 人材育成部門 鶴田町教育委員会	学童保育(サンシャインスクール)の指導員(放課後児童支援員、子ども教育指導員)を対象に、子ども達の心地よい放課後環境をどのように作りだすのかを学ぶことで、各指導員の資質向上と意識改革を図る。	①弘前大学 教育学部 講師 兼 地域創生本部 地域創生人材育成部門員 深作拓郎 ②岩手大学 教育学部 准教授 深作拓郎 宮城県名取市下増田児童センター 館長 渡邊由貴 ③岩手大学 教育学部 准教授 深作拓郎 岩手県立いわてこどもの森 チーフプレーリーダー 長崎由紀	サンシャインスクールに登録する放課後児童支援員、放課後児童支援補助員、子ども教室指導員、地域学校協働活動推進員
72	地域創生本部 jm3146@hirosaki-ac.jp	青森県児童館職員・放課後児童支援員等研修会	1回	令和5年11月7日(火)	アピオあおもり	【共催】 弘前大学地域創生本部 人材育成部門 青森県社会福祉協議会	放課後児童健全育成事業に携わる関係者が、発達障害などの配慮を必要とする子どもに対して適切な対応を行うための方法を学習するとともに、意見・情報交換により、今後の子ども達の放課後支援について考え、現場での円滑な活動に活かしていくことを目的に研修会を開催します。	岩手大学 教育学部 准教授 深作拓郎 東北福祉大学総合福祉学部 福祉心理学科 講師 柴田理瑛 青森中央短期大学非常勤講師 松浦 淳 宮城県名取市下増田児童センター 館長 渡邊 由貴	児童健全育成関係者(児童館職員・放課後児童支援員等)
73	地域創生本部 jm3915@hirosaki-u.ac.jp	弘大じよっぱり起業家塾	11回	令和5年6月22日(木) 令和5年7月6日(木) 令和5年7月20日(木) 令和5年8月31日(木) 令和5年9月14日(木) 令和5年10月5日(木) 令和5年10月19日(木) 令和5年10月26日(木) 令和5年11月16日(木) 令和5年11月30日(木) 令和5年12月21日(木)	創立50周年記念会館	【主催】国立大学法人弘前大学地域創生本部 【後援】 ①青森経済同友会 ②弘前商工会議所 ③青森県中小企業団体中央会 ④一般社団法人 Clan PEONY 津軽	地域活性化に向けた人材育成の一環として、学生や一般市民等を対象に、起業家による講演や事業計画の策定・演習等を通して、柔軟な発想力や高い企画提案力を身に着けることを狙いとした教育プログラム「弘大じよっぱり起業家塾」を開講した。	USAGI SG pte ltd Co-founder 重野 由佳 (株)日本政策金融公庫弘前支店長 古屋洋樹 sekka代表 土屋牧子 弘前忍者屋敷オーナー 佐藤光磨 わかる事務所代表 玉樹 真一郎 (株)ノイエ代表取締役 熊谷淳一 地域共創科学研究科 教授 石塚敬史 地域共創科学研究科 教授 森樹男	大学生、高校生、一般市民

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数(日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
74	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	青森県民公開講座	5回	①令和5年9月11日(月) ②令和5年10月26日(木) ③令和5年11月14日(火) ④令和6年1月25日(木) ⑤令和6年2月20日(火)	弘前大学医学部コミュニケーションセンター 脳卒中・心臓病等総合支援センター ZOOM配信	【主催】弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター	①心臓病と脳卒中をテーマに、青森県民に予防の重要性を伝える ②脳卒中の予防をテーマに、食事や服薬についての重要性を伝える ③心臓病の予防をテーマに、食事や服薬についての重要性を伝える ④心臓リハビリで心臓病の再発を予防する必要性を伝える ⑤社会福祉制度をテーマに役立てられる情報を伝える。入院中～施設、在宅でのリハビリについてを伝える	①・循環器腎臓病内科学講座 教授 富田泰史 慢性心不全看護認定看護師 佐藤みな ②管理栄養士 嶋崎真樹子 薬剤師 大久保翔 ③管理栄養士 嶋崎真樹子 ・薬剤師 相内尚也 ④理学療法士 石岡新治 ⑤社会福祉士 佐藤誠人 理学療法士 佐藤翔	青森県民
75	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	「聞いて良かった」会	3回	①令和5年10月5日(火) ②令和5年10月19日(火) ③令和5年12月5日(金)	脳卒中・心臓病等総合支援センター	【主催】弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター	社会福祉制度をテーマに役立てられる情報を伝える	社会福祉士 佐藤 誠人	青森県民
76	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	医療者向け講演会	2回	①令和5年12月14日(木) ②令和6年3月12日(火)	ZOOM配信	【主催】弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター	①脳卒中治療の最前線と、シームレスな地域連携を目指す必要性を伝える ②小児期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援、循環器病を有する患者・家族への支援体制の構築についてを伝える	①脳神経外科学講座 教授 敦志教授 脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 福岡幸子 ②医療安全学講座 教授 大徳和之	青森県の医療従事者、介護・福祉関係者
77	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	緩和ケア研修会	1回	令和5年9月16日(土)	弘前大学医学部附属病院(外来診療棟5階 大会議室)	【主催】弘前大学医学部附属病院	がん等の診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的とする。	弘前大学大学院医学研究科地域侵襲制御医学講座(麻酔科)准教授 木村太 他	青森県内でがん等の診療に携わる医療従事者で、募集定員規定のe-learning 研修の受講を修了した者
78	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第32回 弘前大学医学部附属病院緩和ケア公開講座	1回	令和6年3月8日(金)	弘前大学医学研究科健康未来イノベーションセンター	【主催】弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター 【共催】東北広域次世代がんプロ養成プラン	がん等の診療に携わる医療従事者が緩和ケアに関する知識や技術を習得することを目的とする。	弘前大学医学部附属病院 麻酔科 伊藤磨矢 弘前大学医学部附属病院 神経科精神科 片貝公紀	院内教職員 医療従事者 福祉関係者
79	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第3回 青森県感染対策協議会(AICON)市民公開講座	1回	令和5年7月15日(土)	弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)	【主催】青森県感染対策協議会(AICON) 【共催】弘前大学医学部附属病院 【後援】青森県	一般市民に対し、ウイルス感染症について正しい知識と対策を知ってもらうこと、また、吐物処理について、家庭内でも対策を行いながら処理できることを目的に開催し、講義と演習を行った。	弘前大学医学部附属病院 感染制御センター長 齋藤紀先	一般市民(定員20名)
80	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第16回 弘大病院がん診療市民公開講座	1回	令和5年12月3日(日)	①弘前市民会館1F大会議室 ②ZOOM配信	【主催】弘前大学医学部附属病院 【共催】未来がん医療プロフェッショナル養成プラン	弘前大学医学部附属病院のがん診療を広く市民の皆様に知って頂くことを目的に開催し、がんについて専門家がそれぞれの立場からわかりやすく講演する。	弘前大学医学部附属病院 地域医療学講座 菊池英純 弘前大学医学部附属病院 消化器外科学講座 三浦卓也 弘前大学医学部附属病院 腫瘍内科学講座 斎藤純介	一般市民(定員80名)
81	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第25回家庭でできる看護ケア教室	1回	令和5年10月3日(火)	弘前大学医学部コミュニケーションセンター	【主催】弘前大学医学部附属病院看護部 【後援】青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター	一般市民の方々を対象とし、専門分野で働く看護師等が講師となり、家庭で実践できる看護ケア等について学ぶ機会を提供する。	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 福岡幸子 弘前大学医学部附属病院 薬剤師 大久保翔 相内尚也	一般市民(定員30名)
82	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第30回アレルギー週間 市民公開講座	1回	令和6年2月23日(金)	中三弘前8階スペース・アストロ	【共催】青森県アレルギー拠点病院・弘前大学医学部附属病院 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会青森県地方分会 青森県アレルギー懇話会 【後援】日本アレルギー協会 東北支部	アレルギー疾患の正確な知識と対策を啓蒙する。	弘前大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科 高畑淳子 弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科 糸賀正道 弘前大学医学部附属病院 皮膚科 赤坂英二郎	一般市民

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
83	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	第18回 訪問看護師対象学習会	1回	令和6年2月3日(土)	総合患者支援センター (ZOOMオンライン)	【主催】弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター	心不全患者の見方やケアなど、在宅療養に必要な情報を発信する。	弘前大学医学部附属病院 循環器内科 西崎史恵 弘前大学医学部附属病院 看護部 佐藤みな (慢性心不全看護認定看護師)	津軽・西北五地区の訪問看護師
84	医学部附属病院 jm6453@hirosaki-u.ac.jp	呼吸器ハズオンセミナー2023	1回	令和5年8月27日(日)	青森県立中央病院研修室	【主催】弘前大学呼吸器内科 講義 【共催】NPO法人北東北呼吸器医療推進機構 【後援】日本呼吸器学会東北支部 【協力】	症例検討および、内視鏡のデモンストレーションを行い、実際にNPPV、スバイロメーターなどの機器に触れてもらいながら、臨床医において習得しておきたい呼吸器診療の教育、普及を行った。	弘前大学大学院 医学研究科呼吸器内科学講座 教授 田坂定智	青森圏内医師 初期研修医 医学部実習学生
85	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度 弘前大学浪江町復興支援活動成果報告会・交流会	1回	令和5年11月25日(土)	道の駅なみえ	【主催】弘前大学被ばく医療総合研究所	平成23年9月29日福島県浪江町と連携に関する協定書を締結し、本学では浪江町と協力しながら、町民の健康相談、環境放射線モニタリングなど様々な支援活動を継続して取り組んでいる。その支援活動の成果について紹介した。	弘前大学被ばく医療総合研究所教授(所長) 床次真司 弘前大学被ばく医療総合研究所教授 三浦富智 弘前大学被ばく医療総合研究所教授 赤田尚史 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター センター長 花田裕之 弘前大学被ばく医療総合研究所 准教授 大森康孝 弘前大学大学院保健学研究科 大学院生 中山亮 田岡愛弥 弘前大学教育学部 学部学生 木村社志	福島県浪江町民、近隣市町村住民 他
86	被ばく医療総合研究所 jm5401@hirosaki-u.ac.jp	災害支援医療従事者養成講座 (履修証明プログラム)	32回	—	—	【主催】弘前大学災害・被ばく医療教育センター 【共催】 【後援】 【協力】	本プログラムは、県内の医療機関、原子力関連機関所属者などを対象に、今後予想される日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震、原子力災害を含めた各種災害発生時に医療従事者の支援が可能な人材を育成することを目的として開講。	弘前大学大学院 地域共創科学研究科 教授 片岡優一 弘前大学大学院理工学研究科 准教授 石田祐宣 弘前大学農学生命科学部 講師 鄧青嶺 弘前大学大学院理工学研究科 講師 佐々木 弘前大学大学院理工学研究科 教授 鳥飼宏之 弘前大学災害・被ばく医療教育センター 助教 辻口貴清 弘前大学災害・被ばく医療教育センター 教授 伊藤勝博 青森地方気象台防災管理官 佐々木幸夫	県内の医療機関、原子力関連機関所属者 他
87	研究推進部 jm3911@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学知財塾	1回	令和5年12月1日(金)	オンライン(ZOOM)	【主催】弘前大学研究・イノベーション推進機構 【共催】弘前大学健康未来イノベーション研究機構/ひろさき産学官連携フォーラム/大学コンソーシアム学都ひろさき	本学の教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に貢献することを目的として開催。令和5年度は「アカデミアの特許出願」をテーマに、研究者による研究成果の社会実装に向けて、特許出願時の特許明細書作成のポイント等について、特許事務所の弁理士の先生に参加していただき講演会を実施(オンライン)。	京都七条特許事務所 共同代表 弁理士 伊藤 洋介	弘前大学教職員、県内大学生、大学院生、ひろさき産学官連携フォーラム会員、大学コンソーシアム学都ひろさき加盟大学教授教職員
88	研究推進部 jm3908@hirosaki-u.ac.jp	青い森の食材研究会セミナー	1回	令和6年2月20日(火)	青森県立保健大学教育研究棟3階N-講義室2 (ハイブリッド開催)	【主催】ひろさき産学官連携フォーラム 青い森の食材研究会	「食」の機能性等を研究している、青森県内の大学や試験研究機関が青森県産食材の栄養や機能性の情報を広く発信するために開催しているセミナー。令和5年度は青森県産の黒にんにくが地域産業として成り立つまでの取り組み等について講演いただいた。	青森県中小企業団体中央会 弘前支所 所長 古川博志	研究会会員及び一般
89	COI研究推進機構 coi@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学COI-NEXT Well-being イノベーションフォーラム2023 (WEB併用)	1回	令和5年10月13日(金)	東京都:一橋講堂	【主催】弘前大学・弘前市・青森県 【後援】文部科学省・(国研) 科学技術振興機構(JST)	新たに健康を基軸とした「経済発展モデル」と「金世代アプローチ」でWell-being な地域共創社会の実現をめざす。これまでのCOIでの活動成果を基盤にしつつ健康(QOL)の本質的課題解決へ向けてさらに力強く挑戦する。STI for SDGs の理念のもと、地域から世界の健康づくり(SDGs)への貢献をめざす。新たな健康未来イノベーション戦略の全体像を披露するとともに、未来の地域社会モデル、ヘルスケア産業創出戦略等について第一線の産学官金民関係者が一大集結し、熱く議論する。	・弘前大学長 福田 真作 ・青森県知事 宮下 宗一郎 ・弘前市長 櫻田 宏 ・文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官 山下恭徳 他	一般市民・学生・大学・企業・研究機関等

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数(日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
90	OOI研究推進機構 coi@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学COI-NEXT Well-being イノベーションサミット2024 (WEB併用)	1回	令和6年2月2日(金)	アートホテル弘前シティ・プレミアホール	【主催】 弘前大学・青森県・弘前市 【共催】 青森県医師会・健やか力推進センター・ひろさき産学官連携フォーラム 【後援】 文部科学省・経済産業省・(国研)科学技術振興機構(JST) 【協力】 なし	健康を基軸とした「経済発展モデル」と「全世代アプローチ」でwell-beingな地域共創社会の実現をめざす。これまでのOOI活動成果を基盤に、健康(QOL)の本質的課題解決へ向けにさらに力強く挑戦し、STI for SDGs の理念のもと、地域から世界の健康づくり(SDGs)への貢献をめざす。新健康未来イノベーション戦略の実現に向け、未来の地域社会モデル、ヘルスケア産業創出等について第一線の産学官金民関係者が一大集結し、熱く議論する。	・弘前大学長 福田 真作 ・青森県知事 宮下 宗一郎 ・弘前市長 櫻田 宏 ・文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官 山下 恭徳 他	一般市民・学生・大学・企業・研究機関等
91	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学イングリッシュ・ラウンジ・セミナー(前期)	57回	前期(4月18日から7月28日)週1～4回、計57回	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構 教養教育開発実践センター	2021年から、弘前大学イングリッシュ・ラウンジの午後4時からの60分間の大学の学生のために行われている英語セミナーを、青森県内の協定校の高等学校の生徒に公開しております。	教育推進機構教養教育開発実践センター 准教授 バードセール・ブライアン、講師 ソロモン・ジョシュア、助教 ヤグノ・ライク	青森県内の弘前大学との協定校の高等学校の生徒(担当教員からの推薦を必要とする)
92	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	高校生のための弘前大学イングリッシュ・ラウンジ セミナー説明会	2回	①令和5年4月14日(金) ②令和5年10月6日(金)	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構 教養教育開発実践センター	弘前大学イングリッシュ・ラウンジの英語セミナーに参加する青森県内の協定校の高等学校の生徒が参加できるワークショップです。	教育推進機構教養教育開発実践センター 助教 ヤグノ・ライク	青森県内の弘前大学との協定校の高等学校の生徒(担当教員からの推薦を必要とする)
93	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	第3回 英語を使ってみよう、弘前大学イングリッシュ・ラウンジで	1回	令和5年8月19日(土)	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構 教養教育開発実践センター	小・中学生の夏休み期間中に行う、英語が好きな生徒のためのアクティビティを中心とした英語講座です。Zoomで日本全国から参加できます。	教育推進機構教養教育開発実践センター 講師 ソロモン・ジョシュア、助教 ヤグノ・ライク	日本全国の英語が好きな小・中学生
94	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	第4回 弘前大学イングリッシュ・ラウンジ～市民のための英語講座	1回	令和5年10月20日(金)	弘前大学イングリッシュ・ラウンジセミナールーム	主催・教育推進機構 教養教育開発実践センター	市民のための地元を英語で語るための講座です。	教育推進機構教養教育開発実践センター 講師 ソロモン・ジョシュア、助教 ヤグノ・ライク	弘前市、および周辺地域の英語が好きな、学びたい意欲のある方
95	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学イングリッシュ・ラウンジ・セミナー(後期)	57回	後期(10月から翌年1月)、週1～4回	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構 教養教育開発実践センター	2021年から、弘前大学イングリッシュ・ラウンジの午後4時からの60分間の大学の学生のために行われている英語セミナーを、青森県内の協定校の高等学校の生徒に公開しております。	教育推進機構教養教育開発実践センター 准教授 バードセール・ブライアン、講師 ソロモン・ジョシュア、助教 ヤグノ・ライク	青森県内の弘前大学との協定校の高等学校の生徒(担当教員からの推薦を必要とする)
96	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	高校生のための弘前大学イングリッシュ・ラウンジ 英語スキル獲得ワークショップ	2回	①令和5年5月27日(土) ②11月下旬の2週間(オンライン・オンデマンド開催)	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構 教養教育開発実践センター	弘前大学イングリッシュ・ラウンジの英語セミナーに参加する青森県内の協定校の高等学校の生徒が参加できるワークショップです。	教育推進機構教養教育開発実践センター ①講師 ソロモン・ジョシュア、助教 ヤグノ・ライク ②講師 ソロモン・ジョシュア、助教 片桐早苗、助教 ヤグノ・ライク	青森県内の弘前大学との協定校の高等学校の生徒(担当教員からの推薦を必要とする)
97	イングリッシュラウンジ (学務部) jm3105@hirosaki-u.ac.jp	(仮題)弘前大学イングリッシュ・ラウンジ 英語による講義シリーズ	計3～4回	3月中旬	オンライン(Zoom)	【主催】教育推進機構教養教育開発実践センター	教育推進機構 英語教員による、わかりやすい英語での専門(文化人類学、歴史、言語教育、等々)の課題を取り扱った講義	教育推進機構教養教育開発実践センター教員	青森県内の弘前大学との協定校の高等学校の生徒(担当教員からの推薦を必要とする)及び一般市民
98	男女共同参画推進室 jm3888@hirosaki-u.ac.jp	男女共同参画トップセミナー	1回	令和5年12月18日(月)	弘前大学創立50周年記念会館2F岩木ホール、オンライン(Zoom)	【主催】 男女共同参画推進室	すべての人が安心して能力を発揮できる組織をめざして～ジェンダー・ダイバーシティと心理的安全性～	Facilitator's LABO (えふらぼ)主宰 栗本敦子	弘前大学、東北北ダイバーシティ研究環境推進コミッティ、東北北国立3大学連携推進会議連携協議会、あおもリダイバーシティ研究環境推進ネットワーク
99	八戸サテライト hachisate@hirosaki-u.ac.jp	令和5年度 雇用対策・人材確保セミナー「企業の採用力強化に向けて」	1回	令和6年2月21日(水)	八戸プラザホテル	【共催】八戸商工会議所、八戸地区雇用対策協議会、弘前大学八戸サテライト	「欲しい人材が採用できない」と悩んでいる企業に対して、学生に選ばれる企業になるためのヒントとして、学生の採用就職に近い立場の指導教員、就職活動を実際に体験した卒業生の経験を元に講演し、企業の具体的な取り組みに繋がるきっかけづくりや、県南地域における弘前大学生の円滑な就職とキャリア形成に寄与する講座を実施した。	弘前大学人文社会科学部准教授 高島 克史 株式会社アンカリンク代表取締役 安部 真之介 弘前大学学務部学生就職支援室長 木村 洋	八戸商工会議所会員事業所の経営者・採用担当者など
100	ボランティアセンター huvc@hirosaki-u.ac.jp	市民ボランティア講座	2回	①令和5年9月21日(木) ②令和5年11月26日(日)	①弘前大学人文社会科学部4階多目的ホール ②弘前大学学生会館3階大集会室	【共催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター、一般社団法人みらいねっと弘前 ②一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと、弘前大学地域創生本部ボランティアセンター、GECM_net	①経済的な事情で塾に通えない児童、学生に対して学習支援を無料で行っている団体の事例から、学習支援のノウハウや居場所づくりについて学びながら、学習支援の必要性を共有し、子どもたちが安心して楽しく学べる場を広げることについて考える講座を実施した。 ②様々な要配慮者を想定した避難所スペース設置やルールづくり等の訓練を行うことで、地域防災力の向上を促進する講座を実施した。	①NPO法人八王子つばめ塾 理事長兼事務局長 小宮 位之 青森県青少年問題研究会共同代表、青森県の星短期大学教授 藤上和幸 ようちんキッズぶれいす代表 小野康一郎 ②一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事 小山内 世喜子	①市民、学生、教職員など ②学生、地域の方
101	ボランティアセンター huvc@hirosaki-u.ac.jp	弘前大学地域創生本部ボランティアセンター活動報告会	1回	令和6年3月10日(日)	弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)	【共催】 弘前大学地域創生本部ボランティアセンター、弘前市	令和6年発半島地震の被害状況や現状に関する講演をきき近年頻発に発生する災害への支援活動について考える他、今年度の本学ボランティアセンターの活動を振り返りながら今後の課題や方策について意見交換を行い、来年度以降のセンター運営を検討すべく実施した。また同時に、弘前市民のボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動参加を推進していくことを目指し実施した。	福知山公立大学 地域経営学部准教授 大門 大朗 弘前大学ボランティアセンター学生 羽原 拓哉(理工学部2年) 加藤里花(人文社会科学部3年) 木村聡志(理工学研究科1年) 塚本晴智(人文社会科学部研究科2年)	市民、学生、教職員、行政関係者等

令和5年度 公開講座・講演会等の実施状況

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

NO	部局名	事業名	延べ開催回数 (日数)	開催日	場所	主催・共催・後援など	事業内容(概要)	講師	対象者
102	むつサテライトキャンパス jm3904@hirosaki-u.ac.jp	むつサテライトキャンパス公開講座 「食育健康講座」	4回	①令和5年7月28日(金) ②令和5年8月25日(金) ③令和5年9月29日(金) ④令和5年10月20日(金)	①海老川コミュニティセンター集會室 ②むつ来さまい館Bホール ③むつ来さまい館Bホール ④むつ来さまい館Bホール	【主催】 むつサテライトキャンパス、弘前大学、むつ市	①「缶詰でも大丈夫！お魚の健康成分を食べよう」 ②「燻の肉！大豆製品を食べて健康に！」 ③「きのこの栄養をしっかりとろう！」 ④「キクラゲを食べてお腹と骨の健康に！」	①弘前大学農学生命科学部 准教授 前多 隼人 料理研究家 坂本謙二 ②弘前大学 名誉教授 加藤 陽治 料理研究家 坂本謙二 ③弘前大学 名誉教授 加藤 陽治、 料理研究家 坂本謙二 ④弘前大学農学生命科学部 准教授 前多隼人 料理研究家 坂本謙二	むつ市民及び周辺市町 村民
103	むつサテライトキャンパス jm3904@hirosaki-u.ac.jp	むつサテライトキャンパス公開講座 「ジオパーク講座」	2回	①令和5年8月26日(土) ②令和5年9月10日(日)	①下北地域 ②下北文化会館	【主催】 むつサテライトキャンパス、弘前大学、むつ市	①下北北通り西部の地形と地質－プラタモリのロケ地を巡る－ ②下北半島の昆虫について	①弘前大学理工学研究科 講師 根本直樹 ②弘前大学農学生命科学部 教授 中村剛之	むつ市民及び周辺市町 村民
104	大学コンソーシアム学都 ひろさき conso@hirosaki-u.ac.jp	5大学合同シンポジウム	1回	令和5年12月9日(土)	土手町コミュニケーション プラザ	【主催】 大学コンソーシアム学都ひろ さき	来場者が興味を持ちやすいテーマを設定し、市民向けの公開シンポジウムを開催することにより、コンソーシアム及び構成大学の取組をより多くの人に知っていただけるようPR活動をする。 テーマ:「ファブをしよう」	東京大学大学院工学系研究科 特任講師 鳴海 藍也	学生、市民、大学関係 者、行政関係者等